

電気設備工事特記仕様書

I 工事概要
1建設工事業主瀬戸谷小学校外1校体育館空調設備設置工事

藤枝市	区	
本郷	外	地内

3建物概要

建物（様）名称	構造	階数	延床面積（㎡）	備考
瀬戸谷小学校	S・RC	1		
稲葉小学校	S・RC	1		

4工事科目（○印のあるもの）

電灯設備(電灯幹線、電灯分岐、コンセント分岐)	誘導支援設備（音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出）
○動力設備(動力幹線、動力分岐)	テレビ共同受信設備
熱気設備	監視カメラ設備
雷保護設備	駐車場管制設備
受変電設備	防犯・入退室管理設備
電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)	火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)
発電設備	中央監視制御設備
構内情報通信網設備	屋外公配電線路
構内交換設備	屋外公通信線路
情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)	テレビ電波障害防止
映像・音響設備	昇降機設備
拡声設備	電気自動車用充電設備

II仕 様
1特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の仕様書（令和４年版）による。
・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
○公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）○公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
・建築物解体工事共通仕様書
2標準品又は以下の令和４年版による。
・建築工事標準詳細図
・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)
・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)
3設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
(1)質疑回答書(2～(5)に対するもの)(2)現場説明書(3)特記仕様書(4)図面(5)標準仕様書
4特記仕様
(1)項目は全て適用する。
(2)特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。
○印のない場合は、※印を適用する。○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

科目	項 目	特 記 事 項
一般事項	①法令その他	この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。 受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、「工事実績情報データベース(CORINS)」に10営業日以内に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約更新前の工事登録を削除すること。 なお、契約金額の変更登録は、 completion時のみとする。 藤枝市建設工事請負契約第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。また、工事の施工を一時的中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	②工事実績情報の登録	
	③工事の一時中止	
	④施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑤工事写真	常勤工事写真撮影要領令和３年版及び国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「常勤工事写真撮影要領(平成28年版)」による工事写真撮影ガイドブック『電気設備工事編 平成30年版』によるほか、監督職員の手引により撮影する。
	⑥監理事務所	※ 設けない ・ 設ける（ ・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に新設する ）
	⑦工事用水電力等	本工程に必要な工事用水力・水等は受注者の負担とする。
	⑧工事用仮設物	敷地内につくることが ※ できる ・ できない
	⑨電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士より施工を行う。
⑩電気保安技術者	電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか監督職員が認める者とするとす。	
⑪発生材の処理	(1)引渡しを要するもの （ ・ PCB使用機器 ） (2)特別管理産業廃棄物 （ ・ 水銀灯 ・ 蓄電池 ） (3)資源化を図るもの （ ・ 蛍光灯 ・ 白熱灯 ・ H I D 灯 ） (4)発生材保管、集積場所が必要なもの （ ） 照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス（銅板製）に収納して建物管理者に引き渡す。また、変圧器・コンデンサ等を廃棄しようとする場合は、PCB混入の可能性の有無について確認し、混入の可能性が判定・確認できない場合は、PCB廃棄物として保管容器に入れ指定された場所に保管する。 建設廃棄物の処理にあたっては建設廃棄物処理計画書を提出すること。	

Ⅻ産業廃棄物管理票

Ⅼ建設副産物情報交換システム

Ⅽ特定建設資材の再資源化等

Ⅾ環境性能等

ⅰ使用する機材の選定

㉑地場産品

㉒機材の検査等

㉓排出ガス対策等

㉔検 査

㉕完 成 図 書

㉖電 子 納 品

㉚公共事業労務費調査に対する協力

24石綿含有建材の事前調査

㉞地下埋設物の事故防止

(財)日本産業廃棄物処理振興センター（ http://www.jwnet.or.jp ） が運営する「情報処理セクター」の登録（電子マネーフェスト）により行うこと。
これにより難い場合は監督職員と協議する。

本工程の情報で「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」へ登録するものととし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにデータ入力を行う。
また、同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利促進計画書、及び建設副産物情報交換システム工事登録証明書を、工事完了時に同一計画の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）の通知の有無
○通知を要しない（対象工事でない） ・ 通知を要する（対象工事である）
対象建設工事の場合は、分別解体等、特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。
(1)分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・新築工事等	建築設備工事 ※有	※手作業 ・手作業・機械作業併用

(2)特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設名称

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称	所在地
・コンクリート	.	.
・コンクリート及び鉄からなる建設資材	.	.
・木材	.	.
・アスファルト・コンクリート	.	.

注) (1)、(2)については概算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。
受注者の提示する分別解体の方法、施設等と異なる場合においても設計変更の対象となしい。

使用する機材はトプランナー基準に適合したものであること。

工事に使用する機材は、その工事の着事前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承認を受けること。

静岡県中小企業の受注者機会増大による地域経済活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることにて、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。
受注者は、工事に使用する建設資材等について、契約図書に規定する品質が規格値を満たした地場産品の優先使用に努めること。
「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。
「県産木材」とは「静岡県産材証明書制度」第２条に掲げるものをいう。
「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。

使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。
ただし、別表に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。
なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種類の機材は以後原則として抽出検査とする。
また、製造工場における材料検査を行う工事材料は監督職員の指示による。

使用する建設機械は排出ガス対策及び低騒音型とする。

中間検査 ○対象工事（実施は中間検査実施基準による） ・ 対象外工事
工事施工中における技術検査の実行数等は監督職員の指示による。

現場説明書による。

電子納品特記仕様書による。
貸与する設計図データの有無（※有り ・無し）
貸与するC A Dデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。

受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
(1)調査票等に必要事項を正確に記載し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
(2)調査票等を提出した事業者が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になつた場合には、その実施に協力しなければならない。
(3)正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日報より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
(4)対象工事の一部について下請契約を終結する場合においては、当該下請員工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請員を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

特定建築物石綿含有建材調査者は石綿含有建材の前回調査を行う。
なお、建築物の改修工事で請負代金の合計額が100万元以上であるものについては、原則として「石綿事前調査結果報告システム」を用いて調査結果の報告を行い、内容を監督職員へ提出すること。
※石綿事前調査結果報告システムには「gBizID（https://gbiz-id.go.jp）」への登録が必要となる。

「静岡県地下埋設物の事故防止マニュアル」に基づき、事故防止対策を行うこと。

井 取 扱 設 備
通 過
工 事

仮設債項目（ ・ 受変電 ・ 発電 ）
仮設備期間（ ・ 図示 ・ ）

※別契約の関係工事 で設定したもの は無償で使用できる。
○本工程で設置する。（高所作業車）
内部足場の種別 ・ 脚立、足踏板等 ・
外部足場の種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
A種： 施工箇所面 に移動足場 を設ける
B種： 施工箇所面 にくさばり組式足場 を設ける
C種： 施工箇所面 に非固定式足場 を設ける
D種： 仮設ゴンドラを使用する
E種： 移动式足場を使用する

設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）における手すり据置方式又は手すり先行専用足場方式に基づく設置すること。
外部足場の防護シートによる養生
・養生ネット ※養生シート（※I類 ・ II類）
・ネット状養生シート（ ・ I類 ・ II類）
・防雪シート ・ 防雪パネル ・

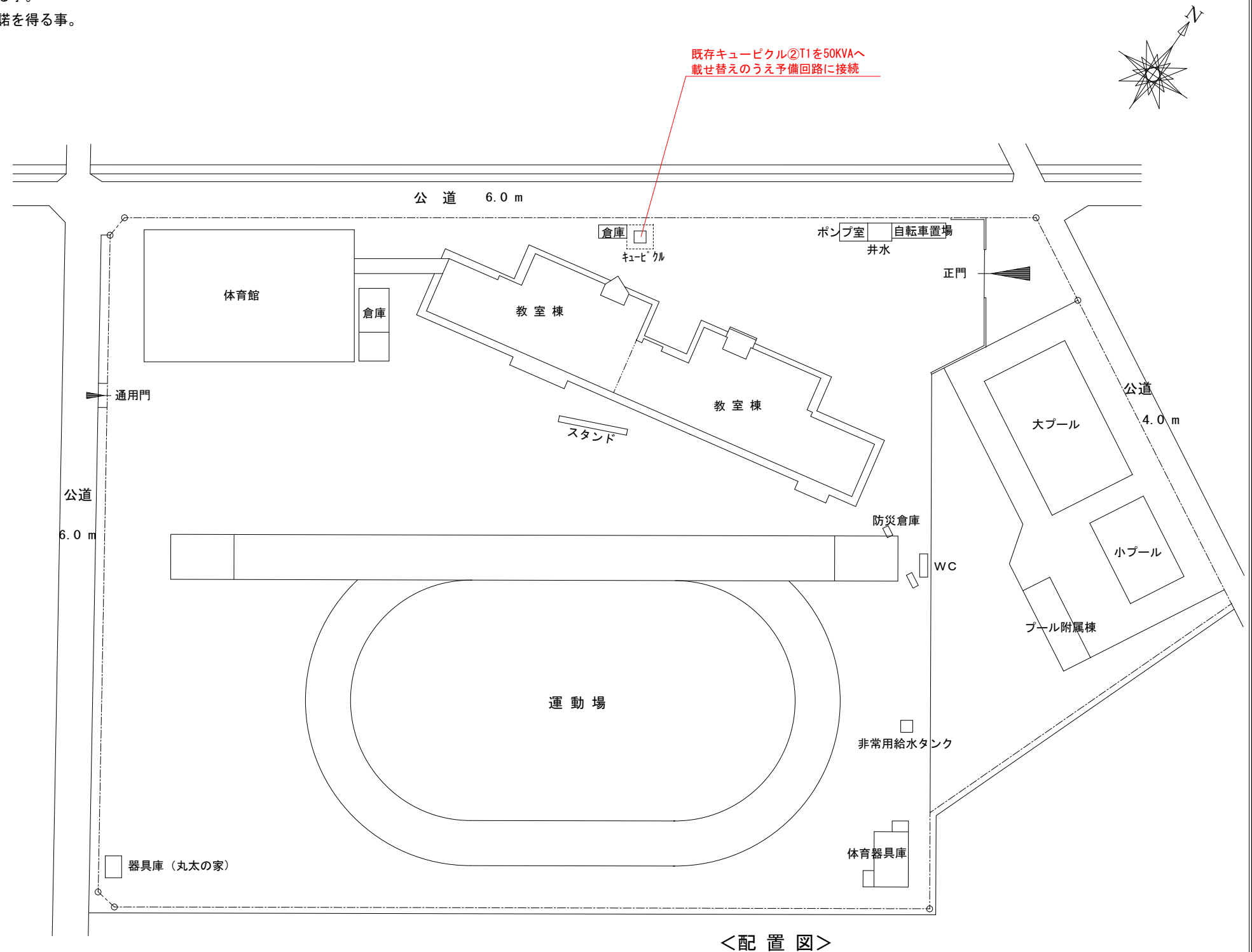
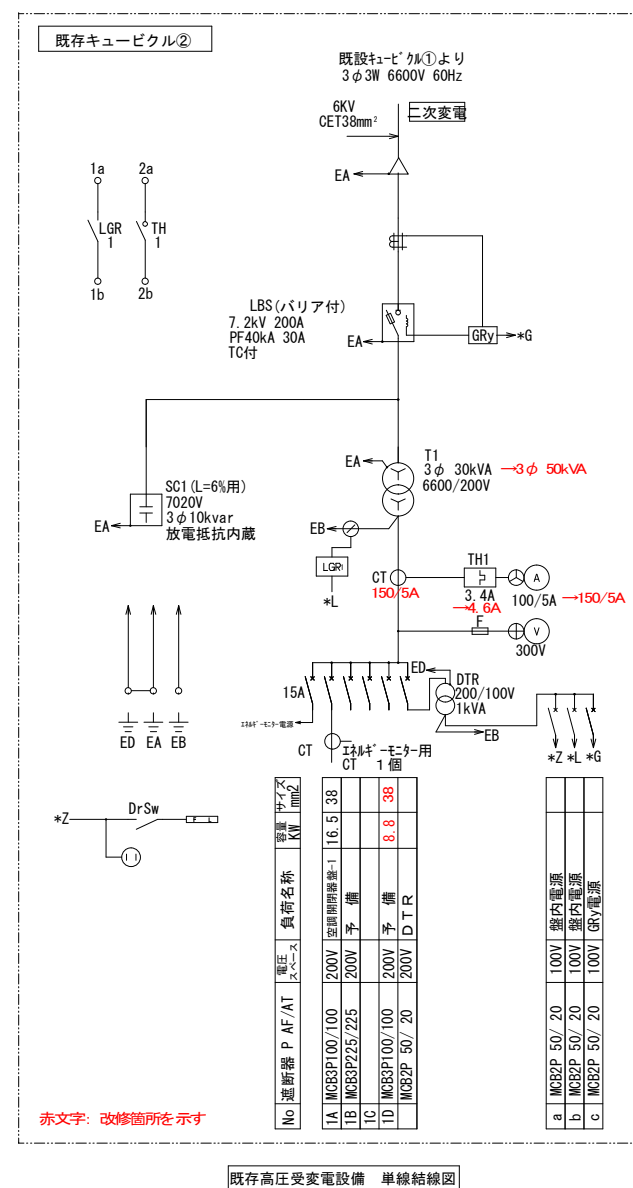
養生範囲（※図示による ・ ）
養生方法（※図示による ・ ）

標準仕様書によるほかによる。
(1)管路を敷設する掘削床は平坦に突き固める。
(2)埋戻し及び盛り土（O印があるもの）
※根切り土 ・ 持込み土（ ）
(3)残土処分
※構内敷きならし
・横方撤出片道運搬距離（ ）km、D I D区間（ ・ 有 ・ 無 ）
場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ提出場所の受入を証明する資料を提供する。
搬出場所の名称及び所在地（ ）
受入条件（ ）
仮置場（ ）
受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象となしい。
・構内指示の場所に堆積

コンクリート圧縮強度試験
現場での試験 （※行わない ・ 行う）
工地での試験成績書の提出（

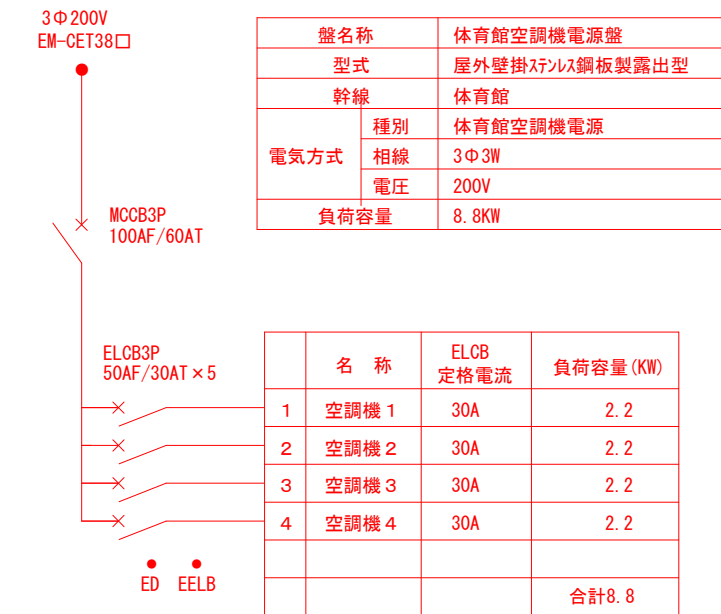
＜特記事項＞

1. 工事関係者以外が作業足場内に立ち入ることがないように現場管理の中で必要な措置を行う事。
2. 騒音・埃の飛散等が発生しない様に充分な対策を行う事。
3. 生徒・学校関係者・通行人には充分注意し、安全性を確保した上で作業を行う事。
4. 学校内での工事車両は徐行通行とし、経路は学校側と調整する事。
5. 資材搬出入の予定は、学校管理者と随時調整を行い承諾を得る事。
6. 作業員等の利用車両について、駐車場所は学校と協議した位置とする事。
7. 資材・廃材置場について、学校側と調整し学校活動に支障がない場所とする事。
8. 既存施設を破損しない様に細心の注意を払い工事を行う事。
9. 万一破損した場合は、請負者の責任に於いて修復する事。
10. 工事工程の詳細は、学校行事を最優先とし、学校側と密に調整を行い了承を得る事。
11. 本工事に伴う仮設計画は、事前に計画書を作成し、学校管理者に説明を行い承諾を得る事。
12. トイレ等は、学校側と協議し利用場所を決定する事。
13. 作業員の休憩場所は、学校側と協議し位置を決定する事。



歩道

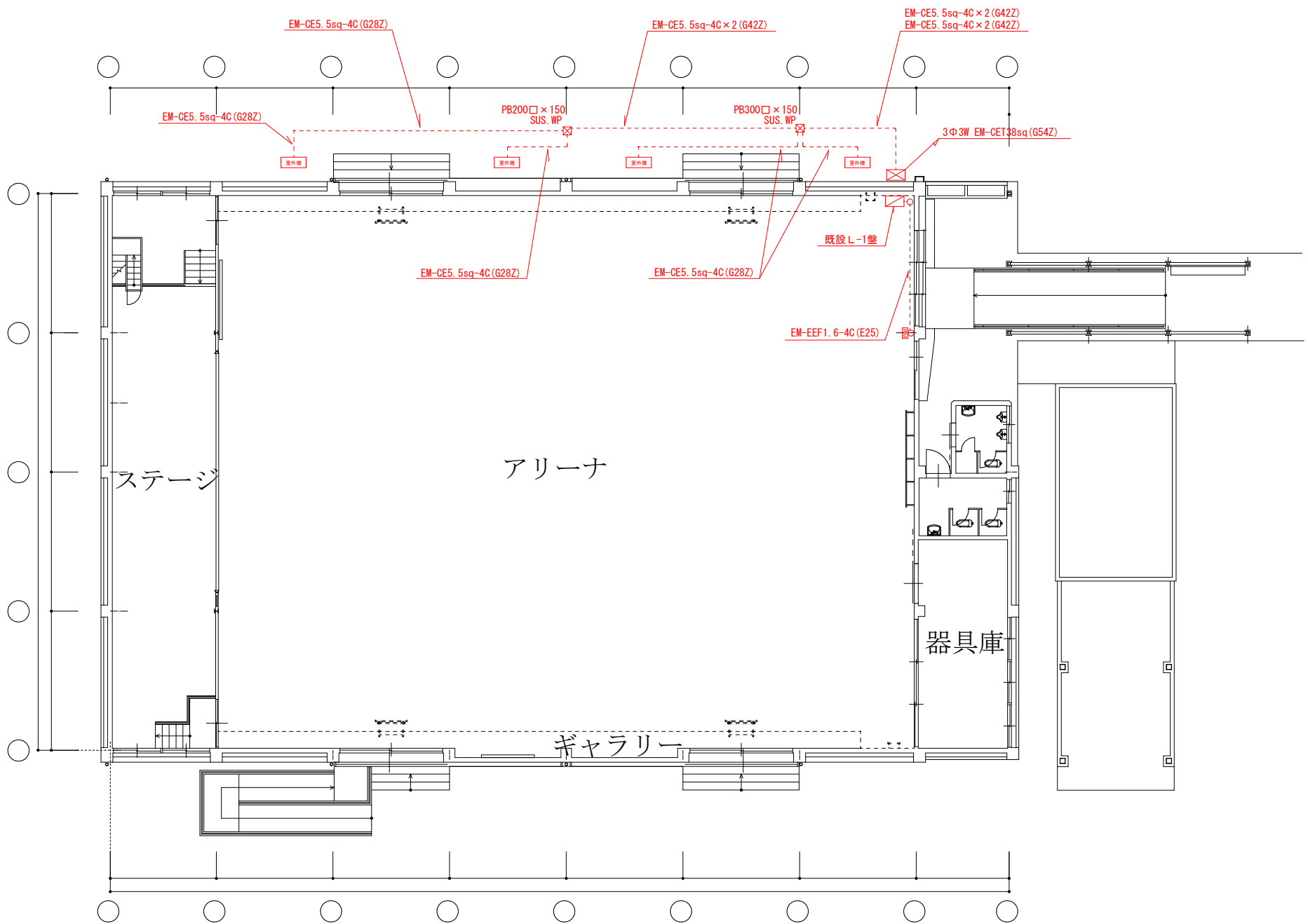
体育館空調電源 結線図

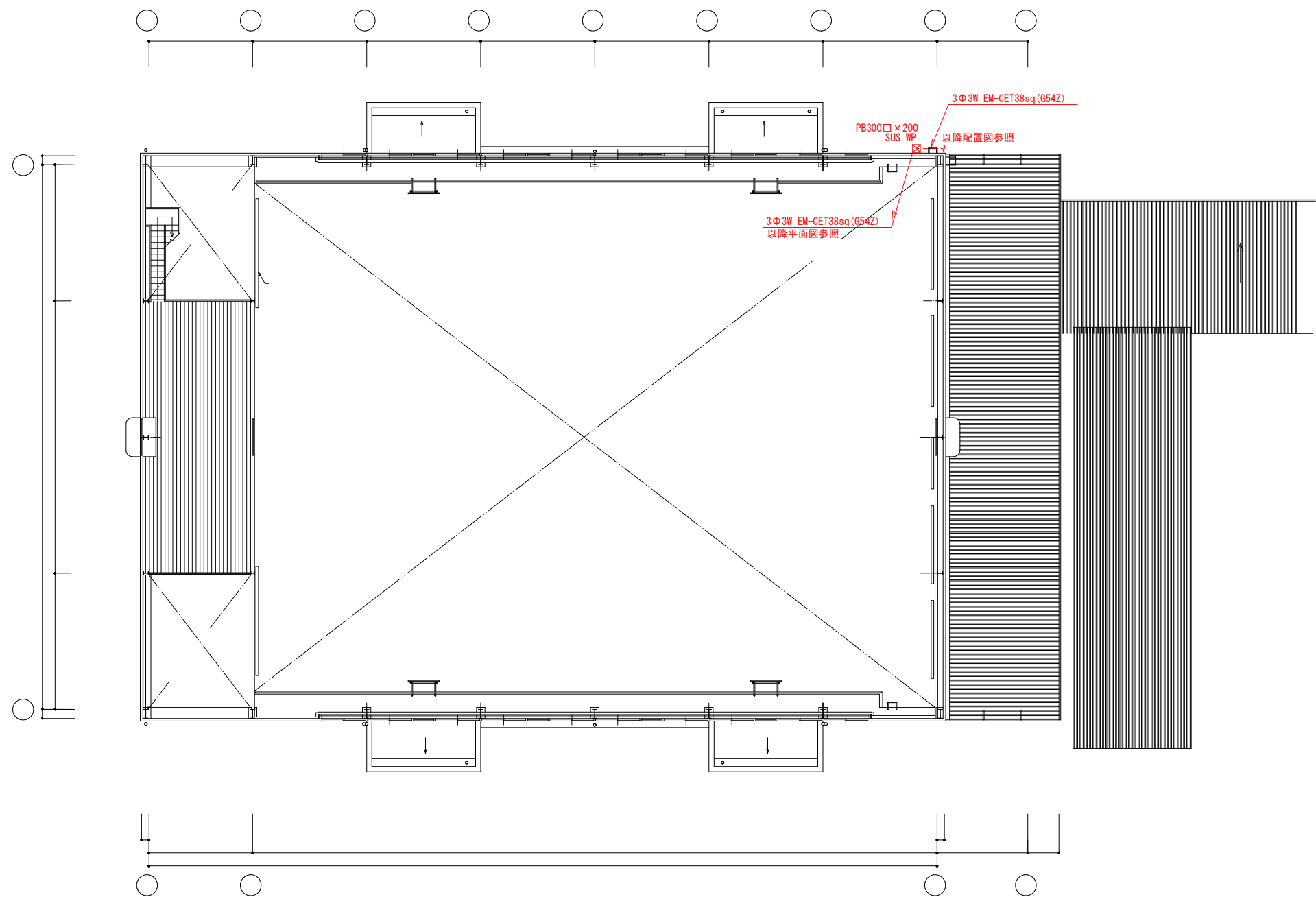


凡例

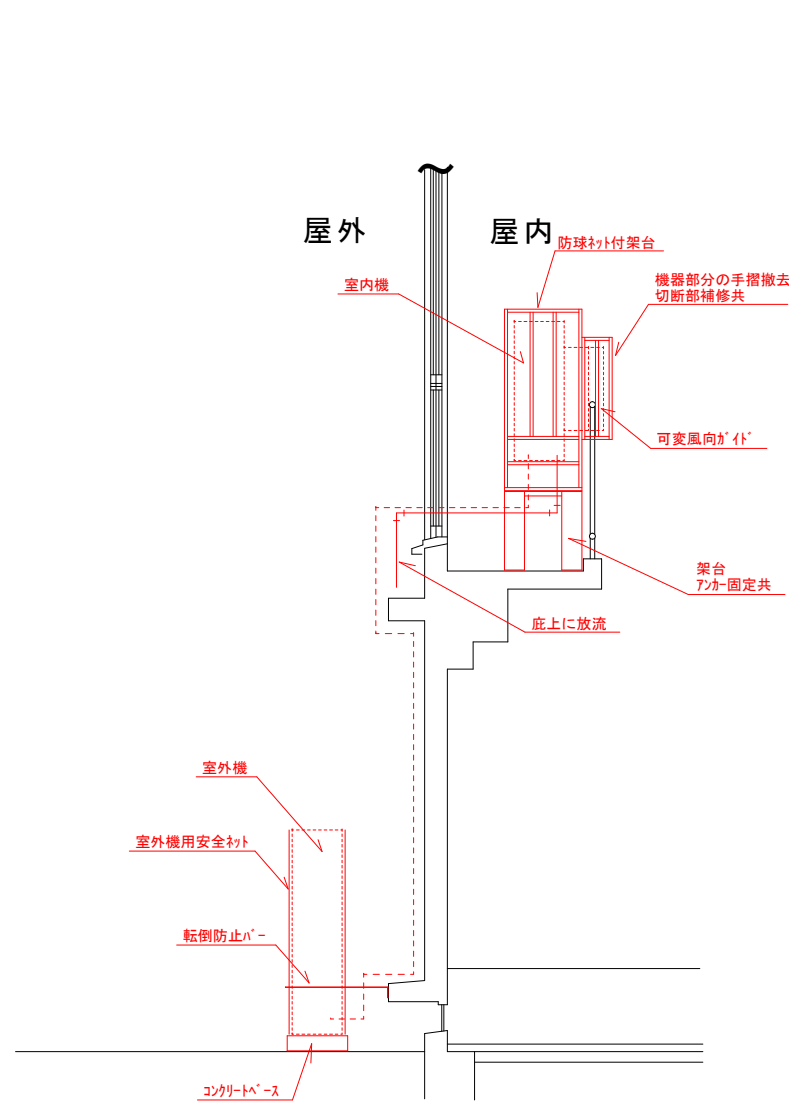
記号	名称	備考
□	電灯分電盤	
⊠	体育館空調電源盤	屋外壁掛ステンレス鋼板製露出型
⊞	ﾌﾟﾙｯｸｽ	図示なき場合は
		150□×100とする
		WP:SUS製防水型
Ⓜ	リモコン操作盤	屋内壁掛露出型（鍵付き）
○	丸型露出ﾌﾟｯｸｽ	
⦶	電柱	

1. 図示なき場合は露出配管とする
2. 防火区画を渡る場合は貫通処理を行うこと
3. ｺﾞﾂ抜きを行う場合は、鉄筋探査を行うこと
4. 体育館外壁に動力盤を新設する

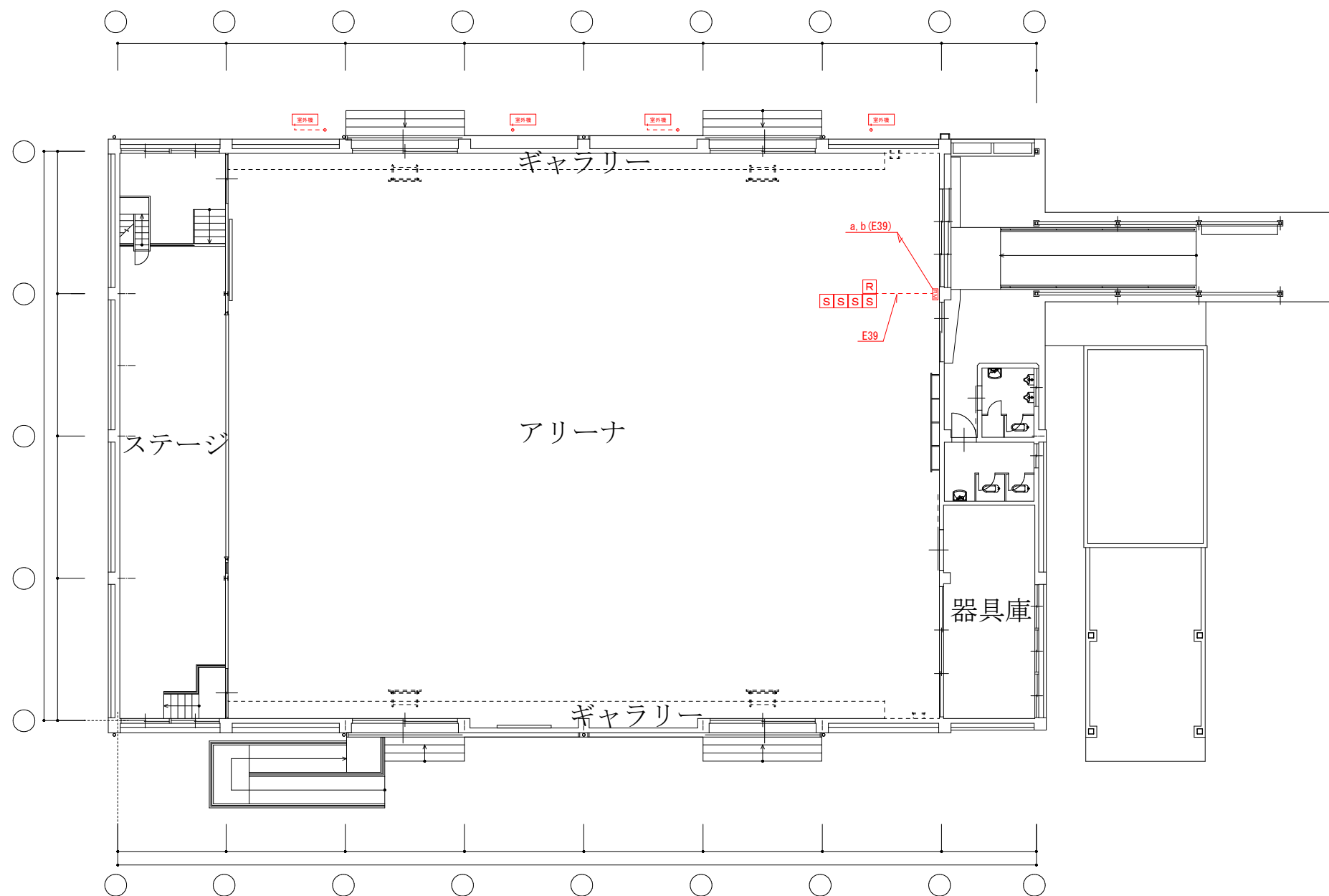




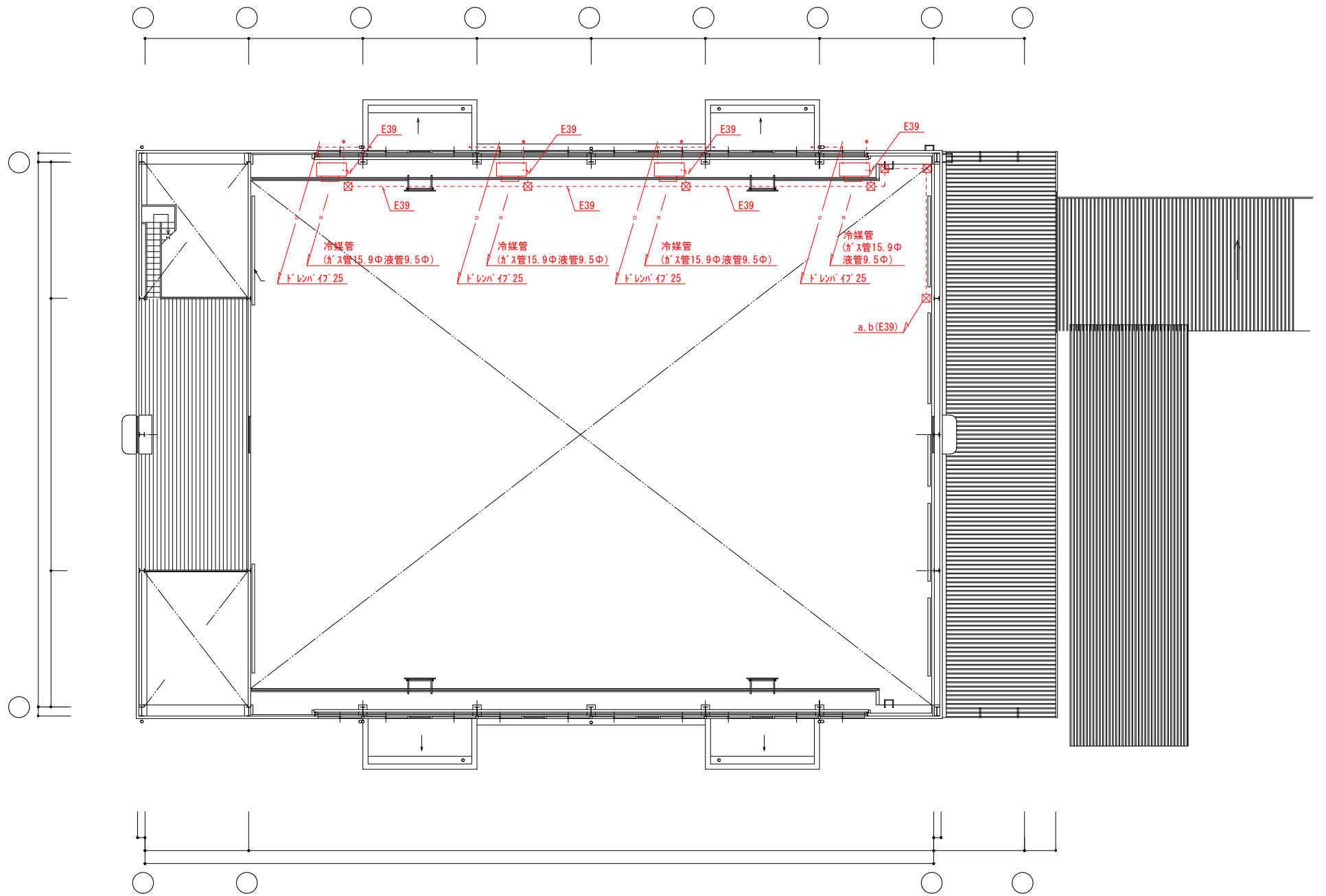
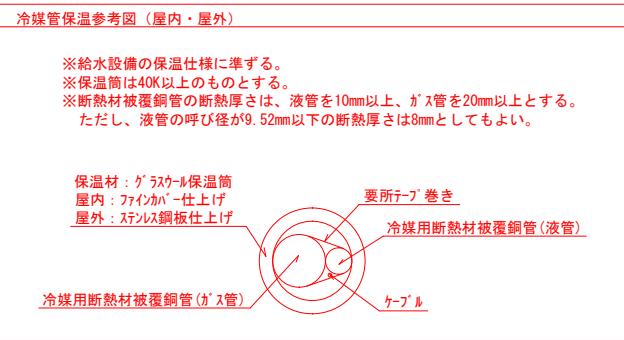
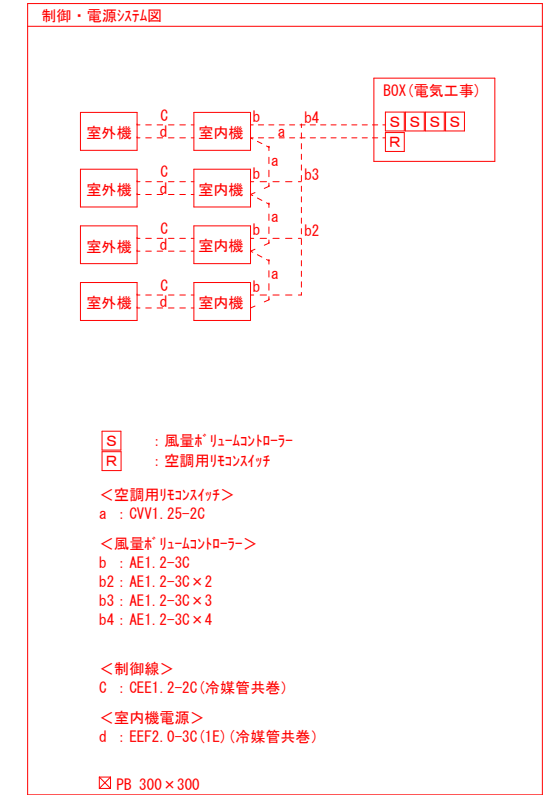
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書			給 湯 設 備	1 配 管 材 料 ※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 鋼管（硬質M） ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上） 2 配 管 保 温 外 装 屋内露出 ※ 合成樹脂製カバー 屋外露出 ・ 合成樹脂製カバー ※ ステンレス鋼板	そ の 他	1 ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。 2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。			
① 機 器 類 の 落 下 防 止 措 置 12 パネル落下防止措置 13 既存ダクトの再利用	機器類の落下及び転倒の防止措置を適切に行うこと。 吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。 吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。 天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。 「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による パネル落下防止措置を行う。 改修標準仕様書第3編2. 2. 7「既設ダクトの再利用」による。 ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う	消 火 設 備					1 配 管 材 料 屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40） ・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。 地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ・ 2 屋 内 消 火 栓 箱 ※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。		
								ガ ス 設 備	1 ガ ス の 種 類 ・ 都市ガス 10,750Kcal/nm3 ・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3 2 配 管 材 料 屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ポリエチレン被覆鋼管（PLSF） 地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP・PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE） 3 ガ ス メ ー タ ー ※ 貸与品 ・ 本工事 4 ガ ス 漏 れ 警 報 機 外部出力端子（※ 有 ・ 無） 5 緊 急 遮 断 弁 ・ 設ける ・ 設けない 6 そ の 他 ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。
さ く 井 設 備	1 種 別 2 掘 削 方 式 3 ケ ー シ ン グ ・ 4 ス ト レ ー ナ ー 5 電 気 検 査 6 水 質 検 査 ・ 浅井戸 ・ 深井戸 ・ ロータリー式 ・ パーカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式 ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ※ ステンレス製巻線型 ・ ※ 連続測定 ・ スポット測定 ※ 行う（原水全項目） ・ 行わない								
		撤 去 工 事	1 冷 媒（フロン系）の 回 収 ※ 無 ・ 有 （1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 （ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等） （2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。 2 家 庭 用 エ ア コ ン の 処 分 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。 3 吸 収 冷 凍 機 ・ 吸 収 冷 温 水 機 等 の 臭 化 リ チ ウ ム 水 溶 液 等 ※ 無 ・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。 4 石 綿 含 有 建 材 の 除 去 工 事 事前調査 ※ 行う ・ 行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト） ・ 配管用成形保温材 ・ 天井材 ・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ） 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。						
屋 内 排 水 設 備	1 配 管 材 料 雑 排 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水・通気用耐火二層管 汚 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 排水・通気用耐火二層管 通 気 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 排水・通気用耐火二層管 (1)排水機主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。 (2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。 3 試 験 満水試験 ・ 行わない ※ 行う 煙 試 験 ※ 行わない ・ 行う 排水の通水試験は、樹への放流を確認し、報告書を作成すること。 （空調ドレン排水を含む） 4 そ の 他 流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可） 耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。								
		屋 外 排 水 設 備	1 放 流 納 付 金 2 配 管 材 料 3 樹 類 4 樹 の 深 さ ※ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事） ※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU） マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。 蓋の鎖 鉄製蓋 ※ 要 ・ 不要 塩化ビニル製蓋 ・ 要 ※ 不要 ※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。 ・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合） 汚水樹 小口径樹（150mm（流入口径75mm以下に限る））：深さ1,000mm以下 小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下 小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下 雨水樹（ハ'スケット付） 小口径樹（150mm）：深さ1,200mm以下 小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下 小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下						
別表 1									
			名 称 配管類 ・ 給水管 ・ 排水管 ・ 冷温水管 ・ 冷媒管 ・ 弁類 ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ・ 逆止弁 ・ 緊急遮断弁 ・ ポンプ類 ・ 給水用ポンプ ・ 空調用ポンプ ・ 消火ポンプ ・ ・ タンク類 ・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 貯湯槽 ・ 膨張水槽 ・ 空気調和設備工事用機材 ○パッケージエアコン ・ 空気調和機（AHU） ・ 冷却塔 ・ ヘッダー ・ 自動制御機器類 ・ 中央監視盤 ・ リモート盤 ・ ・ 給排水衛生設備工事用機材 ・ 衛生器具 ・ 水栓 ・ 組立てマンホール ・ ・ 浄化槽 ・ F R P 浄化槽 ・ 動力盤、制御盤 ・ プロワー ・ ・ さく井 ・ スクリーン ・ ・ ・ ・ その他 ・ スリーブ（つば付鋼管） ・ ・ ・ ・ ○ 印の付いたものを適用する。						
			別表 2 設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。 ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度） センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）						
			瀬戸谷小学校						
			藤枝市教育部教育政策課						
			瀬戸谷小学校外1校体育館空調設備設置工事						
			機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書（R7.4） 2/2						
			M－02						



部分断面 S=1/50

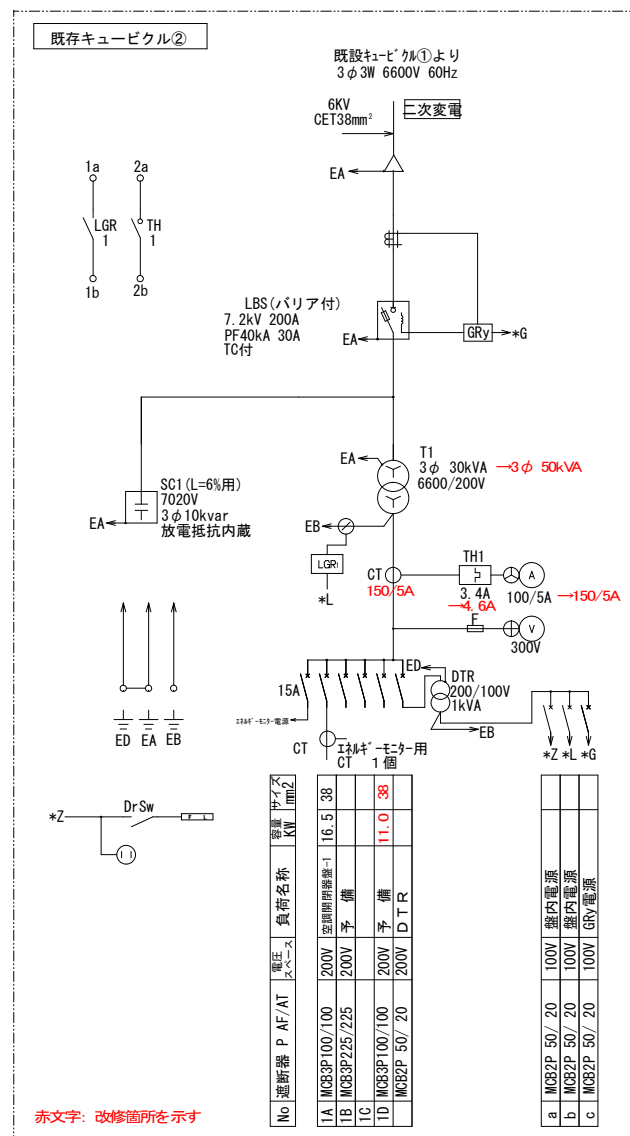


機器表			
記号	名称	仕様	台数
AC-1	空冷ヒートポンプエアコン	参考型番KBHP-GP112-S3	4
		型式：大風量スリムエアコン	
		冷房能力：10.0Kw（定格）	
		冷房消費電力：2.01Kw（定格）	
		暖房能力：11.2Kw（定格）	
		暖房消費電力：2.2Kw（定格）	
		風量：83m3/min	
		外形寸法：室内機H920×W950×D330（+195）	
		：室外機H1350×W950×D330（+73）	
		製品質量：室内機52Kg	
		：室内機90Kg	
		相・電圧：3Φ・200V	
		多機能ワイヤードリモコン、風量スリムコントローラー 可変風量ガイド、ドレンパン（ドレンソケット） スリム型防球ネット、フィルターユニット	

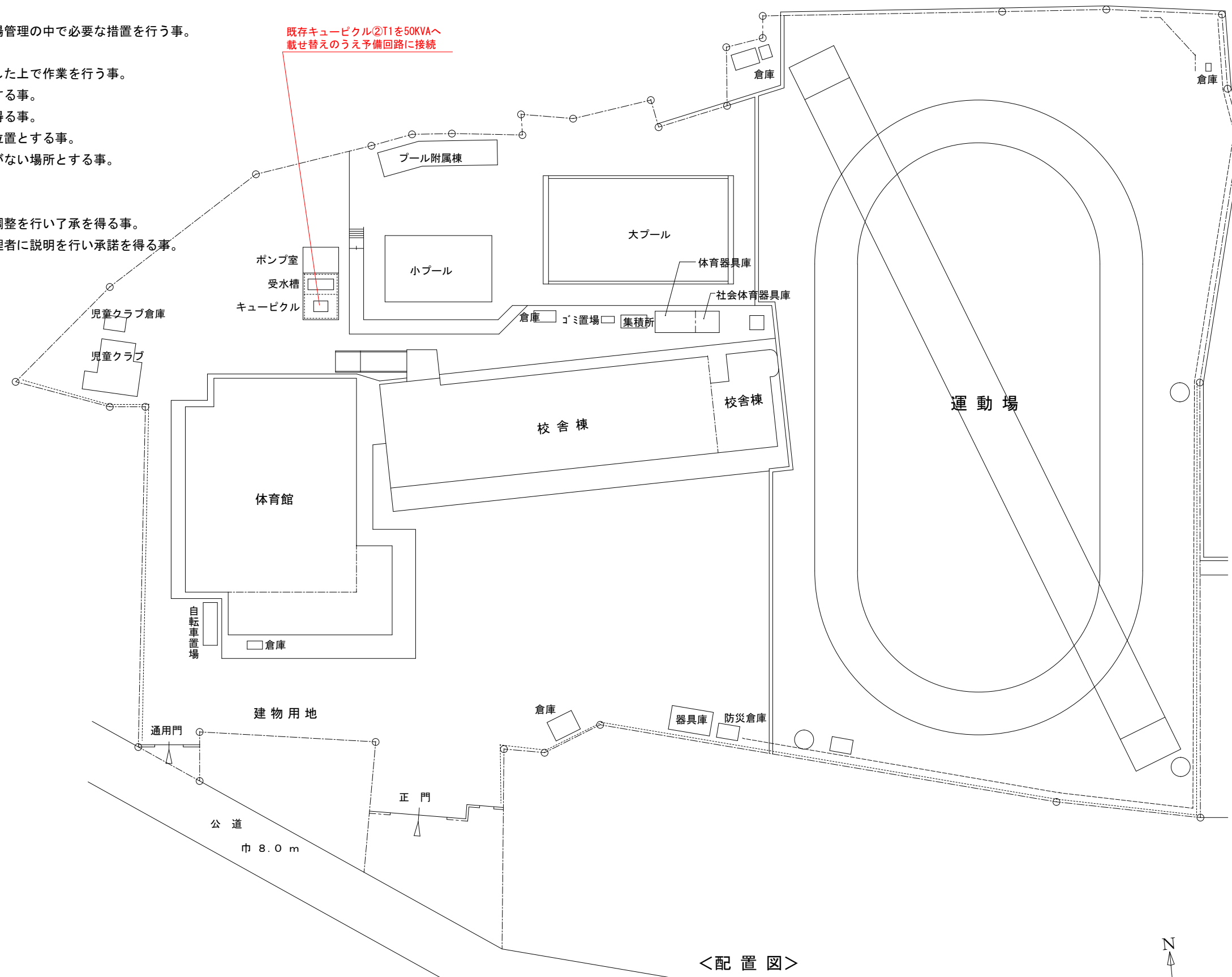


＜特記事項＞

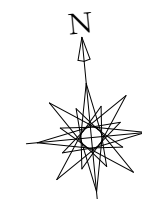
1. 工事関係者以外が作業足場内に立ち入ることがないように現場管理の中で必要な措置を行う事。
2. 騒音・埃の飛散等が発生しない様に充分な対策を行う事。
3. 生徒・学校関係者・通行人には充分注意し、安全性を確保した上で作業を行う事。
4. 学校内での工事車両は徐行通行とし、経路は学校側と調整する事。
5. 資材搬出入の予定は、学校管理者と随時調整を行い承諾を得る事。
6. 作業員等の利用車両について、駐車場所は学校と協議した位置とする事。
7. 資材・廃材置場について、学校側と調整し学校活動に支障がない場所とする事。
8. 既存施設を破損しない様に細心の注意を払い工事を行う事。
9. 万一破損した場合は、請負者の責任に於いて修復する事。
10. 工事工程の詳細は、学校行事を最優先とし、学校側と密に調整を行い了承を得る事。
11. 本工事に伴う仮設計画は、事前に計画書を作成し、学校管理者に説明を行い承諾を得る事。
12. トイレ等は、学校側と協議し利用場所を決定する事。
13. 作業員の休憩場所は、学校側と協議し位置を決定する事。

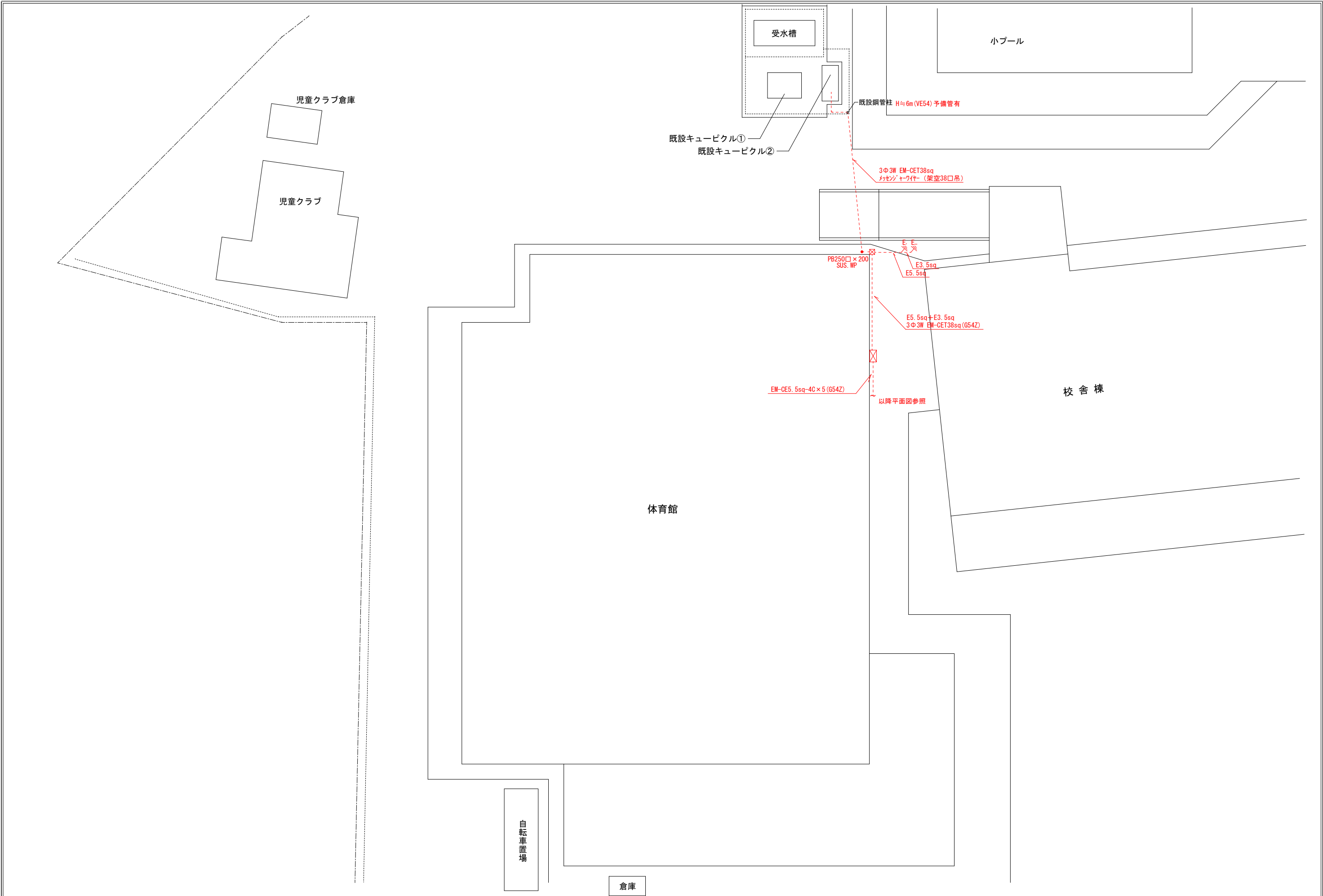


既存高压受变電設備 單線結線図

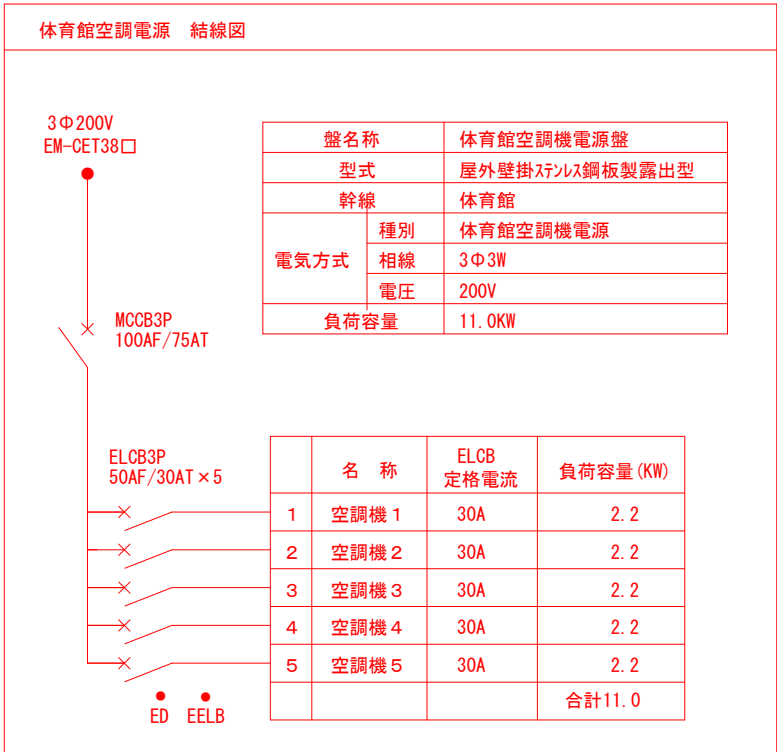


＜配置図＞





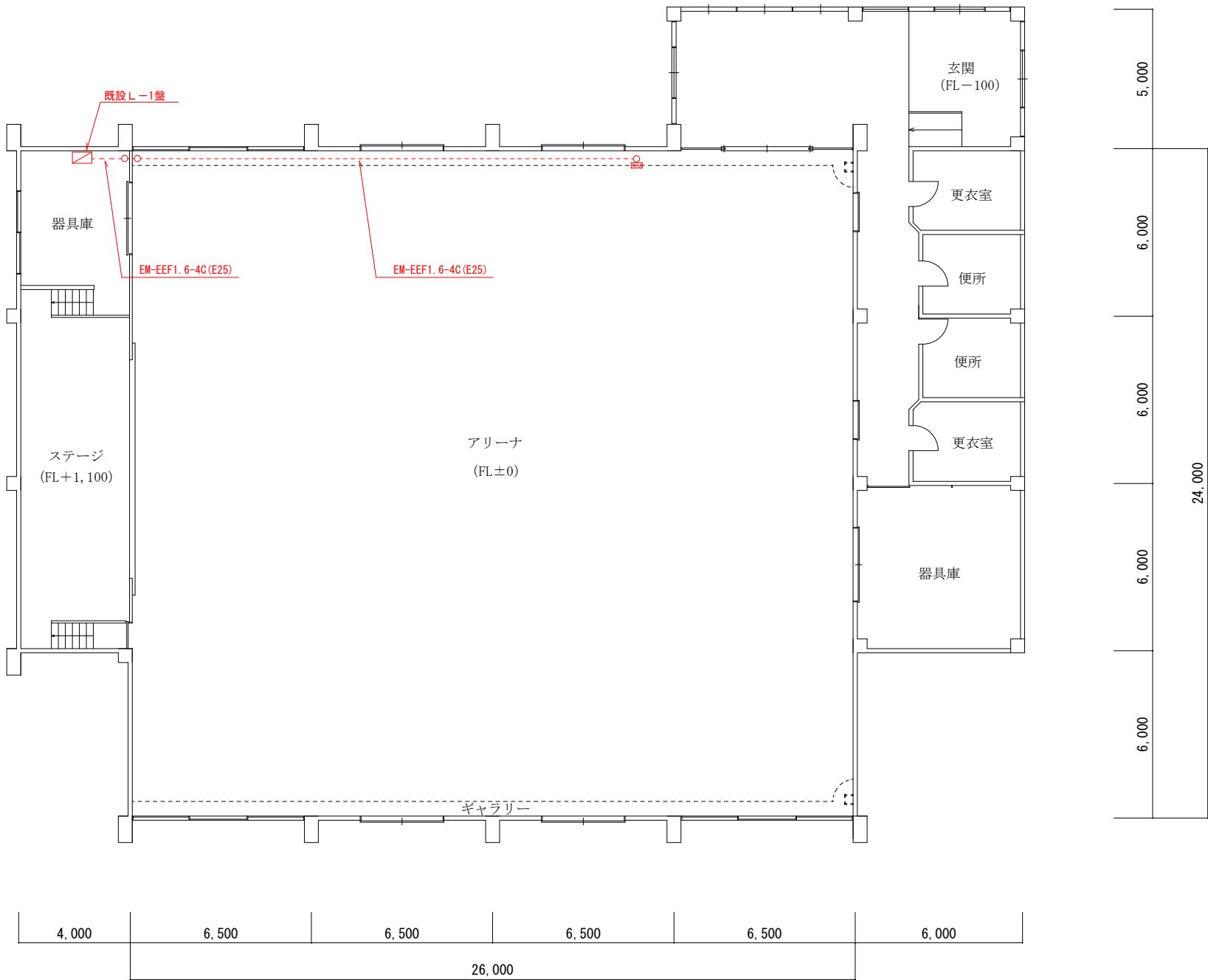
藤枝市役所教育部教育政策課 静岡県藤枝市岡出山1丁目1 1-1	建設工事名 瀬戸谷小学校外1校体育館空調設備設置工事	図面名 稲葉小学校 配置図（体育館）	縮尺	A3:1/200	図面番号 E-04
			日付		

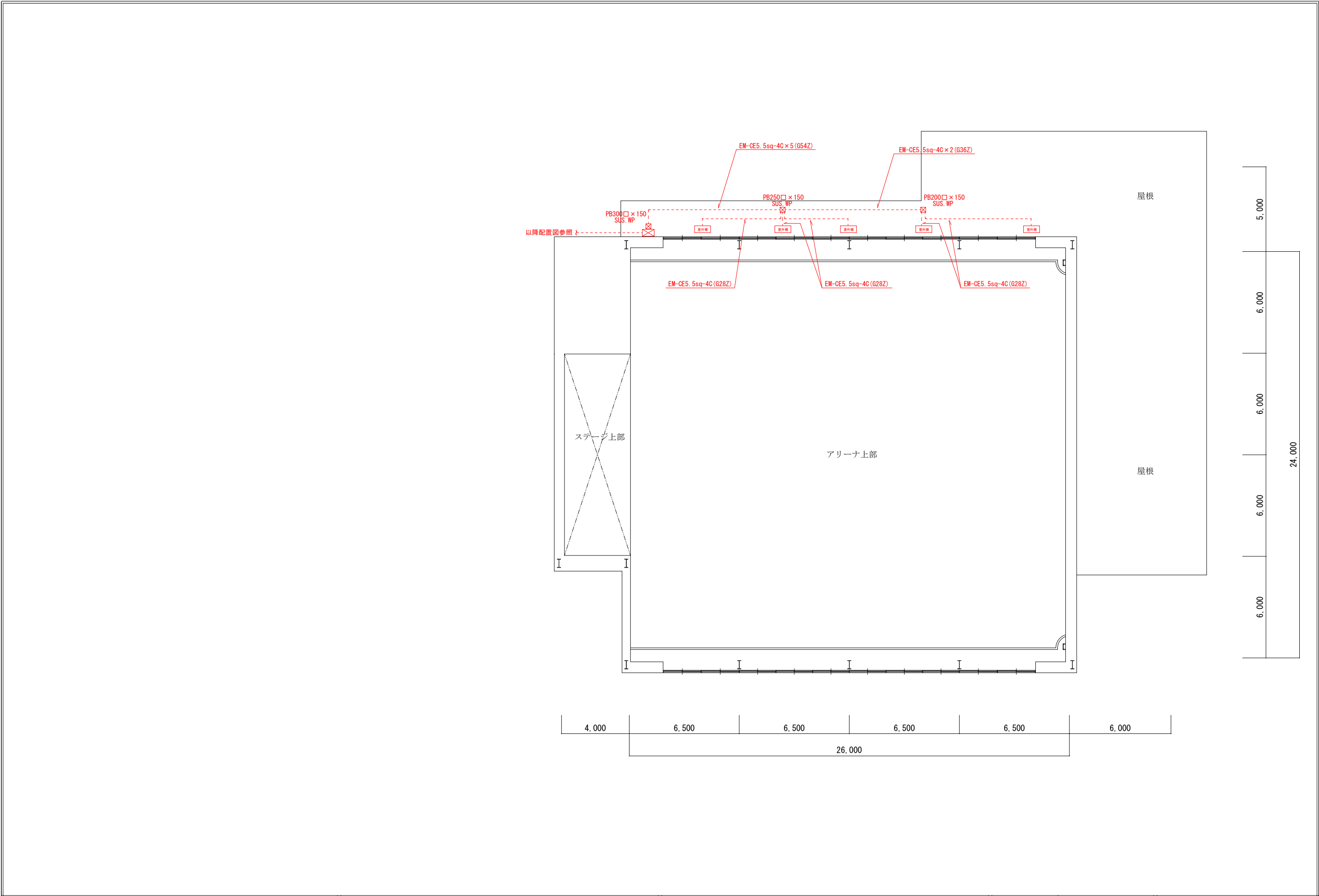


凡例

記号	名称	備考
□	電灯分電盤	
⊠	体育館空調電源盤	屋外壁掛ステンレス銅板製露出型
⊞	ﾌﾞﾚｯｸｽ	図示なきは場合は 150□×100とする WP:SUS製防水型
⊞	リモコン操作盤	屋内壁掛露出型（鍵付き）
○	丸型露出ﾌﾞｯｸｽ	
⦶	電柱	

- 図示なき場合は露出配管とする
- 防火区画を渡る場合は貫通処理を行うこと
- ｺﾌﾞ抜きを行う場合は、鉄筋探査を行うこと
- 体育館外壁に動力盤を新設する

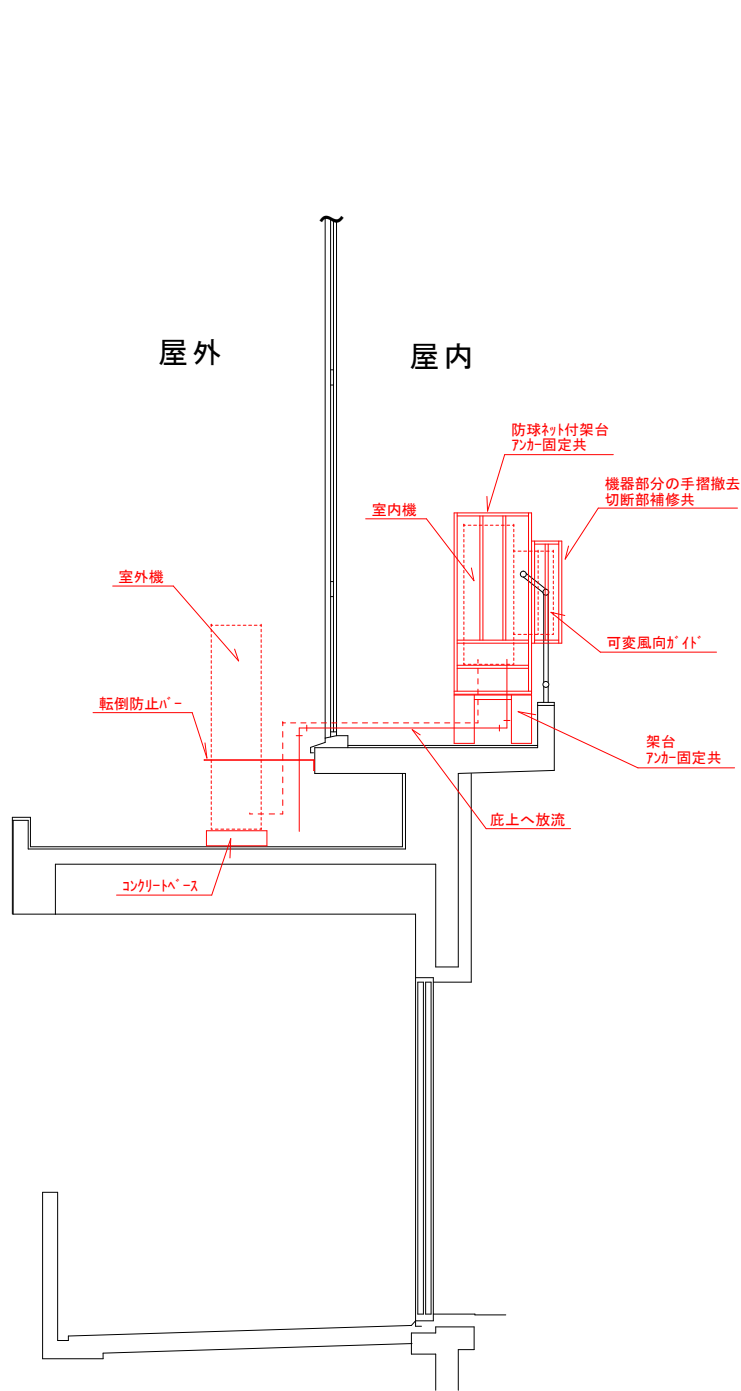




藤枝市役所教育部教育政策課 静岡県藤枝市岡出山 1 丁目 1 1 - 1	建設工事名 瀬戸谷小学校外 1 校体育館空調設備設置工事	図面名 稲葉小学校 平面図（1 階上部）	縮尺	A3:1/200	図面番号 E-06
			日付		

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書			給 湯 設 備	1 配 管 材 料 2 配 管 保 温 外 装	※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 鋼管（硬質M） ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上） 屋内露出 ※ 合成樹脂製カバー 屋外露出 ・ 合成樹脂製カバー ※ ステンレス鋼板	そ の 他	1 ステンレス材を酸洗した場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。 2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。		
⑪ 機 器 類 の 落 下 防 止 措 置 12 パネル落下防止措置 13 既存ダクトの再利用	機器類の落下及び転倒の防止措置を適切に行うこと。 吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。 吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。 天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。 「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による パネル落下防止措置を行う。 改修標準仕様書第3編2. 2. 7「既設ダクトの再利用」による。 ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う	消 火 設 備						1 配 管 材 料 2 屋 内 消 火 栓 箱	屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40） ・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。 地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ・ ※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。
排 煙 設 備	1 ダ ク ト 2 排 煙 口 の 形 式 3 排 煙 口 開 放 装 置 4 排 煙 風 量 測 定	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（板厚 mm ・ mm） ・ 天井取付 （ ・ スリット形 ・ パネル形 ） ・ 壁取付 （ ・ スリット形 ・ ） ・ 電気式（遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要） ・ ワイヤー式 建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。	ガ ス 設 備	1 ガ ス の 種 類 2 配 管 材 料 3 ガ ス メ ー タ ー 4 ガ ス 漏 れ 警 報 機 5 緊 急 遮 断 弁 6 そ の 他	・ 都市ガス 10,750Kcal/nm3 ・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3 屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ポリエチレン被覆鋼管（PLSF） 地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP・PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE） ※ 貸与品 ・ 本工事 外部出力端子（※ 有 ・ 無） ・ 設ける ・ 設けない ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。	別表 1 名 称 配管類 ・ 給水管 ・ 排水管 ・ 冷温水管 ・ 冷媒管 ・ 弁類 ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ・ 逆止弁 ・ 緊急遮断弁 ・ ポンプ類 ・ 給水用ポンプ ・ 空調用ポンプ ・ 消火ポンプ ・ ・ タンク類 ・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 貯湯槽 ・ 膨張水槽 ・ 空気調和設備工事用機材 ○パッケージエアコン ・ 空気調和機（AHU） ・ 冷却塔 ・ ヘッダー ・ 自動制御機器類 ・ 中央監視盤 ・ リモート盤 ・ ・ 給排水衛生設備工事用機材 ・ 衛生器具 ・ 水栓 ・ 組立てマンホール ・ ・ 浄化槽 ・ FRP浄化槽 ・ 動力盤、制御盤 ・ プロワー ・ ・ さく井 ・ スクリーン ・ ・ ・ その他 ・ スリーブ（つば付鋼管） ・ ・ ・ ○ 印の付いたものを適用する。			
衛 生 器 具 設 備	1 掃 除 流 し 2 洗 浄 水 量	排水口形式 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓 改修工事における大便器の洗浄水量の調整 調整を（※行う ・ 行わない） 大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。 新設の場合：6.5リットル、既存利用の場合：便器の仕様に合わせる	浄 化 槽 設 備	1 処 理 方 式 2 処 理 能 力 3 本 体 構 造 4 放 流 水 質 5 配 管 材 料 6 土 留 め 工 法	合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第（ ）（ ）方式） 処理対象人員 人 処理水量 m3/日 ・ コンクリート製 ・ FRP製 BOD ppm 以下 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（ ） ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管（ ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）（ ） ・ ・				
屋 内 給 水 設 備	1 配 管 材 料 2 配 管 接 合	屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB） 地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD） ね じ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする）	さ く 井 設 備	1 種 別 2 掘 削 方 式 3 ケ ー シ ン グ ・ 4 ス ト レ ー ナ ー 5 電 気 検 査 6 水 質 検 査	・ 浅井戸 ・ 深井戸 ・ ロータリー式 ・ パーカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式 ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ※ ステンレス製巻線型 ・ ※ 連続測定 ・ スポット測定 ※ 行う（原水全項目） ・ 行わない				
屋 外 給 水 設 備	1 上 水 道 加 入 金 2 量 水 器 3 量 水 器 樹 4 配 管 材 料 5 配 管 接 合 6 緊 急 遮 断 弁 装 置 7 水 圧 試 験	※ 不要 ・ 要（※ 別途 ・ 本工事） ※ 貸与品 ・ 本工事（水道事業者の認定品） ※ 水道事業者の規格 ・ 標準図 形 地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下） ・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下） ※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上） 架 空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ ね じ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする） 水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする 駆 動 方 式 ※ 電気式 ・ 機械式 水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。	撤 去 工 事	1 冷 媒（フロン系）の 回 収 2 家 庭 用 エ ア コ ン の 処 理 3 吸 収 冷 凍 機 ・ 吸 収 冷 温 水 機 等 の 臭 化 リ チ ウ ム 水 溶 液 等 4 石 綿 含 有 建 材 の 除 去 工 事	※ 無 ・ 有 （1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 （ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等） （2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。 ※ 無 ・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。 事前調査 ※ 行う ・ 行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト） ・ 配管用成形保温材 ・ 天井材 ・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ） 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。				
屋 内 排 水 設 備	1 配 管 材 料 2 配 管 施 工 3 試 験 4 そ の 他	雑 排 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水・通気用耐火二層管 汚 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 排水・通気用耐火二層管 通 気 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 排水・通気用耐火二層管 (1)排水機主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。 (2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。 満水試験 ・ 行わない ※ 行う 煙 試 験 ※ 行わない ・ 行う 排水の通水試験は、樹への放流を確認し、報告書を作成すること。 （空調ドレン排水を含む） 流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可） 耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。							
屋 外 排 水 設 備	1 放 流 納 付 金 2 配 管 材 料 3 樹 類 4 樹 の 深 さ	※ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事） ※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU） マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。 蓋の鎖 鉄製蓋 ※ 要 ・ 不要 塩化ビニル製蓋 ・ 要 ※ 不要 ※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。 ・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合） 汚水樹 小口径樹（150mm（流入口径75mm以下に限る））：深さ1,000mm以下 小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下 小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下 雨水樹（バースタット付） 小口径樹（150mm）：深さ1,200mm以下 小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下 小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下							
			稲葉小学校						
			藤枝市教育部教育政策課						
			瀬戸谷小学校外1校体育館空調設備設置工事						
			機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書（R7.4） 2/2						
			M-02						

* ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。



部分断面 S=1/50

